

松ヶ岡保存活用検討委員会の報告書について

【経過】

「松ヶ岡」を保存し、市民が「松ヶ岡」の歴史や山崎家の功績を知り、地元を誇りに思うことを目的とし、市民協働による保存活用体制を構築するため、以下のとおり検討を行ってきた。

平成25年度

	準備会	5月25日	(土)	9:30～
第1回	検討委員会	6月29日	(土)	9:30～
第2回	検討委員会	9月14日	(土)	9:30～
第3回	検討委員会	10月20日	(日)	9:30～
第4回	検討委員会	12月21日	(土)	9:30～
第5回	検討委員会	2月8日	(土)	9:30～
第6回	検討委員会	3月22日	(土)	9:30～

平成26年度

第7回	検討委員会	5月18日	(日)	9:30～
第8回	検討委員会 兼 視察研修	8月19日	(火)	9:00～
第9回	検討委員会	9月20日	(土)	9:30～
第10回	検討委員会	10月5日	(日)	9:30～

随時、部会の開催

【基本理念】 「以善堂（いぜんどう）」

善い行いをする人が集まり、善い行いをする人を育てる所
“士”の掛川城、“農”の報徳社、“町人”の松ヶ岡
このキャッチフレーズのもとに、

- ①市民が集い、協働の力により、文化の拠点をつくる。
- ②ふるさと掛川の文化財を大切にし、後世に伝える。
- ③「松ヶ岡」の歴史や偉人に学び、未来を担う子どもを育てる。

【基本方針】

- 1 「松ヶ岡」を市民協働により、文化的な拠点として経営を図る。
- 2 「松ヶ岡」の歴史的建造物や庭園を文化財として後世に残す。
- 3 「松ヶ岡」に残る歴史的意義を後世に残す。
- 4 「松ヶ岡」に関わる郷土の偉人を顕彰する。
- 5 「松ヶ岡」の歴史や人物等を媒介にして人材を育成する。

【具体的な活動内容】

〔基本方針の1〕

- ①後世まで永く保存するため、松ヶ岡の修復と掛川銀行の復元を行い、そのための管理・運営計画を策定する。
- ②事業にかかる費用は、寄附により確保する。
- ③修復、復元後は、松ヶ岡での活動により、運営資金を確保する。
- ④活動の母体として、活動推進のプロジェクトを組織して活動する。

〔基本方針の2〕

- ①建造物の専門家による整備委員会により整備基本計画を策定し、文化財としての価値を損なうことなく、文化財指定に対応できる修復工事を実施する。
- ②早期に市の文化財指定を行い、修復工事を進め、完成後においては、県指定文化財、さらには重要文化財の指定を目指す。

〔基本方針の3〕

- ①山崎家の古文書調査を行うとともに、資料収集を行う。
- ②山崎家文書を大学などの専門機関で研究し、学術的な評価を得る。
- ③大井川疎水計画の検証と評価を行う。
- ④明治天皇行在所としての歴史的評価を実施する。

〔基本方針の4〕

- ①市民活動により、偉人の功績を整理し、広く周知公開をしていく。
- ②成人向け「松ヶ岡講座」を開設する。
- ③「松ヶ岡」で地域に貢献した偉人、「松ヶ岡」から出た偉人を顕彰する。
- ④活動の中で得た多くの各種資料を展示する。

〔基本方針の5〕

- ①市内小中校長会や教員研修を「松ヶ岡」で開催する。
- ②市内小中学校で松ヶ岡を利用するように働きかけを行う。
- ③掛川銀行を復元し、建築、造園、哲学、芸術、歴史、金融学、経営学等々の研究やセミナーハウスとして機能させ、将来の人材育成プロジェクトを推進していく。学習所や合宿所として活用運営を行い、将来を担う子どもたちの人材育成の場とする。
- ④松ヶ岡の主屋、離れ等は文化財の見学や迎賓館的な活用を図り、市民が多く集まる場所や、交流する場所としての施設を目指す。
- ⑤復元した掛川銀行においては、喫茶、食事処、土産物販売、研修場所、部屋貸し、シンポジウム会場、劇場、映画館、俳句・短歌・漢詩の講座会場、碁・将棋の会場、セミナー（金融・起業・英語等）の会場など、様々な形での活用を図る。
- ⑥掛川城、大日本報徳社等、周辺の歴史、観光施設と連携した活用を図る。

【今後の組織体制と当面の活動】

松ヶ岡保存活用検討委員会から発展、移行した「松ヶ岡プロジェクト推進委員会」を組織する。本プロジェクトは、「募金活動」、「修復・復元」、「歴史・顕彰」、「人づくり育成・活用」の各プロジェクトチームにより構成する。

修復と復元に向けた募金活動を、松ヶ岡プロジェクト推進委員会の募金活動プロジェクトチームを中心にして行う。

【財源計画】

事業推進にあたっては、寄付金を財源とする。

また、募金活動の負担軽減を図るため、補助事業への取り組みを市に対して働きかける。